

子どもの本

研究会



35周年

子どもにおはなしを
本のたのしみを!

私の一冊

小学校最初の3年間で本当にさせたい「勉強」(すばる舎)

近松恵美子



癌やいろんな病気の方の相談を受ける中で、周囲の「要求」に応えることを自分の生きがいとして生きてきた人に、「本当にしたいことは何?」と問うと考えこんでしまう人がいます。

人生の基礎の子育て期は、「要求」に応える子どもに育てる前に、「欲求」を素直に出すことができる子どもに育てていくことが大切なのではないかと思えます。

そのように思っていたころにこの本に出会いました。

☆ 最優先すべきは、「好きなことに熱中する時間」

☆ 遊びをとことん充実させる

☆ 子育ての目的は、幸福な子ども時代を与えること

☆ 家庭を最高の教育の場にする

☆ ただひとつ、たっぷりさせたいこと。それは「読書」

どのページを開いても説得力のある言葉で具体的にすぐに行えることが書いてあります。

「問題集より効果的な国語的会話」、「子どもは誰よりもまず、親から言葉を学びます。」

この文にも反省させられました。「あれ、それ」、みたいな会話をしていて、子どもの国語力が伸びるはずはありません。なるほど、と反省すること大でした。

そして、目先の子どもの成績に一喜一憂するのではなく、子どもの一生の礎をつくる期間は親子ともども感動と学びの日々となるような子育て環境を作りたいと、心に火が灯った本でした。

(玉名市議会)